

名前

復習①

文法への扉3・文法③

単語の分類 単語の性質を見つけよう

【目標】文節内での役割や活用に注目して、単語を分類しよう。

1 次の二つの文章を読み、後の問いについて考えよう。

てのひらに水を受けて何度も頬をたたいていると、足音が近づいてきた。後ろから「おい。」と声をかけられた。戸部君だ。ずっと耳になじんでいた声だからすぐわかる。顔を拭きながら振り返ると、戸部君が言った。「俺、考えたんだ。」

ハンドタオルから目だけを出して戸部君を見つめた。何を言われるのか少しこわくて黙っていた。(安東みきえ「星の花が降るころに」)

この西湖でクニマスがこれからも生き続けるためには、どうすればよいだろう。一つには、産卵場所も含めた湖全体の環境を守ることが必要だ。そして、クニマスだけを過度に保護するのではなく、ヒメマスなどの他の生き物と、それらの生き物から生活のかたを得ている私たち人間とが、バランスを保って共存していくことが大切である。(中坊徹次「幻の魚は生きていた」)

① 単語には自立語と付属語があり、それぞれに活用しないものと活用するものがある。文中の で囲んだ十の単語は次の表のどの欄にあてはまるだろうか。

	活用しない	活用する
自立語	てのひら・おい・ずっと この・そして	わかる・こわく・必要だ
付属語	が	られ

② 単語には十の種類がある。251ページの【品詞分類表】を見て、 で囲んだ単語を次の表に一つずつ当てはめよう。

名詞	てのひら	感動詞	おい	形容動詞	必要だ
副詞	ずっと	動詞	わかる	助詞	が
連体詞	この	形容詞	こわく	助動詞	られ
接続詞	そして				

① 体言：活用しない自立語のうち主語になる単語

用言：活用し、単独で述語になることのできる自立語

◎ 活用する... 文中で形が変わる  
活用しない... 変わらない